おはなしワールドだより

進級おめでとう号

2022年4月 3・4年生

しんきゅうおめでとうございます。
おおきくなったみなさんに、おはなしワールドから
おすすめの本をしょうかいします。
好きな本を見つけて、たくさん読んでくださいね。

なにを読もうかな

きが き じゃない

作・絵： アントワネット・ポーティス

訳： 中川 ひろたか　　光村教育図書

これ「き」？それ「き」？どれが「き」？
一本の木がいろんなものに見えてくるよ。
なのに、「きのせいでしょ」だって。
同じシリーズの『はこ は はこ？』
もおもしろいですよ。

てのひらむかしばなし いっすんぼうし

作： 長谷川 摂子　　絵： 荒井 良二

岩波書店

一寸（いっすん）って どれくらい？だいたい3センチくらいなんだ。そんな小さな男の子がゆうきをもって、3メートルもあるような 大きなおにに たちむかうお話。みんなは日本のむかし話をどれだけ知っているかな？とちゅうは知っていても、いがいと けつまつは知らないお話もあるんじゃないかな？いちど読んでみない？

ユリ子おばちゃんのおしゃべりえほん ゆびのこと、しってる？

作： 黒沼ユリ子　　絵： 大西三朗

冨山房インターナショナル

毎日つかう ゆび。ゆびには それぞれの やくわりや 名前の ゆらいが あります。指づかいのプロ、ヴァイオリニストのユリ子おばちゃんが おやゆびから こゆびまで おしえてくれますよ！

しんでくれた

作： 谷川 俊太郎

絵： 塚本 やすし

佼成出版社

読み進んでいくごとに、文と絵が心にズンズン入ってきます。たくさんの命に生かされている。だから、その命をつなげた自分の命も大切に…。心をこめて「いただきます」「ごちそうさま」

おうさまのおひっこし

作： 牡丹靖佳

福音館書店

やさしいけれど はずかしがりやのおうさまと、あわてんぼうのおともたちが おひっこしをする話。たくさんのにもつをつんだにぐるまは ガタリゴトリとパレードのようにすすみます。行くとちゅうで「なんてこった」というようなことがあるけれど、なんだか ハッピーな気もちになれる本です。

しげちゃんの はつこい

作： 室井 滋

絵： 長谷川 義史

金の星社

わたし、しげちゃん。小学三年生。新学期がはじまって クラスのみんなの顔と名前をおぼえたころ てん校生が やってきた。人を好きになる気持ちって どんなの？しげちゃんと おなじような 気持ちになったことってある？？

まだまだあるよ

おすすめの本

おすしやさんにいらっしゃい！生きものが食べものになるまで

作： おかだ だいすけ　　写真： 遠藤 宏

岩崎書店

みんなが 大すきな、おすし！キンメダイ・アナゴ・イカなど、つり上げられた魚が おすしのネタになるまで、写真とともに せつ明されているよ。魚のとくちょうや、部いも知れて、読んだら「おすしのはかせ」になれるよ～。

ありえない！

作： エリック・カール　　訳： アーサー・ビナード

偕成社

よい子のみなさん、あっとおどろく「ありえない」ショーがはじまりましたよ。

へびのしっぽはどこいった？スピードは出ないけど、どこまでも行けるタクシーってどんなの？鏡に映っているのは自分？それとも……？

かさぶたくん

作・絵： 柳生 弦一郎

福音館書店

新しい学年になって、元気いっぱいあそんでいますか？あなたは、すりきずやきりきずをして、「かさぶた」ができたことがあるでしょう？「かさぶた」って、かゆくて むしりたくなっちゃいませんか？でもね、「かさぶた」は【ふた】なんだって？！「かさぶた」の下ですごいことがおきているんだよ！

「かさぶたくん」だけでなく、ほかの『わくわくにんげんシリーズ』もたくさんの発見があっておもしろいから、ぜひ読んでみよう！

　みなさんには、おじいちゃんおばあちゃんはいますか？どんなお話をしますか？この本をながめながら会話をすれば、みなさんの知らないようなことをたくさんお話してくれるかもしれませんよ。どんな子どもだったのかな？

おじいちゃんの小さかったとき　作：塩野 米松　絵：松岡 達英
おばあちゃんの小さかったとき　作：おち とよこ　絵：ながた はるみ
福音館書店

↓保護者の方へ

我が家とおはなしワールド

　春休みが終わり、新学期が始まりましたね。我が家のマイペースな子どもに、「早くしなさい」という毎日です。そんな中、図書館で手に取った「さくらららら」。桜のモノローグ（わたし）で語る写真絵本です。美しい写真と主人公のさくらちゃんのセリフが心に響きました。我が家の下の子も新1年生です。不安もありますが、この桜が咲く森のように 子どもをあたたかく見守る親になれたらと思いました。

「さくらららら」
文：升井 純子
写真：小寺 卓矢
アリス館